

令和4年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立北区北老人福祉センター
施設所管課・担当	福祉局高齢者施策部高齢福祉課(電話:06-6208-8054)
条例上の設置目的	高齢者に関する各種の相談に応じ、高齢者に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与するとともに、高齢者の地域福祉活動を支援することを目的とする。
業務の概要	高齢者の生活に関する相談・高齢者の健康の増進及び地域福祉活動に関する情報の収集及び提供・講演会、講習会及び教養講座の開催・高齢者のレクリエーション活動の機会の提供・高齢者の地域福祉活動その他自主的活動の支援。
成果指標	センター利用者向け実施する満足度調査で、「満足と回答される方」の割合
数値目標	84.6%以上(26ある老人福祉センターで実施(H30年度～令和2年度)したアンケートの平均)
指定管理者名	社会福祉法人大阪市北区社会福祉協議会
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日
評価対象期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	満足と回答される方の割合
数値目標	84.6%
年度実績	83.6%
達成率	98.8%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	17,022	9,692	7,330

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績－計画)	主な要因
業務代行料	実績	18,811,000	18,811,000	0	—
	計画	18,811,000	18,811,000		
その他	実績	60,410	7,670	-239,590	上半期のセンター事業中止に伴い参加費収入の減。
	計画	300,000	300,000		
合計	実績	18,871,410	18,818,670	-239,590	—
	計画	19,111,000	19,111,000		

支出		当年度	前年度	差異(実績－計画)	主な要因
人件費	実績	13,251,530	13,829,572	-848,470	—
	計画	14,100,000	14,100,000		
物件費	実績	4,165,431	4,491,471	-845,569	—
	計画	5,011,000	5,011,000		
合計	実績	17,416,961	18,321,043	-1,694,039	—
	計画	19,111,000	19,111,000		

令和4年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価(1次評価)

(1)成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
アンケート調査で「満足と回答される方」の割合	98.8%	B	感染症による影響がある中で、本市が定める水準を概ね達成している。

(2)市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・再生紙利用及び2色刷りの実施。 ・比較見積調達による経費節減。	B	施設の老朽化による維持管理コストの増加や光熱費の高騰の影響があったが、再生紙利用などの取組を行うなど、市費の縮減に努めた。

(3)管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	・建築物や設備の法定点検を適切に行っている。 ・利用者を含めた消防・災害避難訓練の複数回実施することにより利用者の安全管理を図っている。 ・感染症対策のため、入館前の検温及び手指消毒などの対策を実施している。
事業計画の実施状況	B	・感染症の影響により、高齢者福祉の拠点づくり・孤立防止を目的としたふれいあい喫茶の開設できなかったが、当初計画にない和太鼓体験会を実施するなど工夫しながらセンター運営に努めている。
施設の有効利用	B	・専門学校実習生の受入を行うとともに北区社会福祉施設連絡会や北区リハビリテーション連絡会などの地域関係団体等と連携している。
社会的責任・市の施策との整合性	B	・個人情報保護規程などを定め、個人情報の保護を行っている。 ・環境保護対策として、再生紙の利用など実効性のある取組を行っている。

令和4年度 指定管理者年度評価シート

5 利用者ニーズ・満足度等

(1)調査方法 センター利用者に対してアンケート調査を実施
(2)回答者279人(未記入者含む)
(3)質問項目 ア 基本的な事項(年齢、居住区等) イ 満足度 ウ 感染症による影響、所持している電子機器等
(4)結果 ・総合満足度において、満足(やや満足)と回答される方が83.6%となっており、利用者の満足度は非常に高い。

6 外部専門家意見

1 センターが居場所として利用しやすい場所として定着し、評判が良いこと及び電子機器の定着性が非常に高い点は評価できる。
2 今後はリーダー層の固定化を防ぐため、新たなリーダーの養成等、利用者層の広がりを意識した取組を進めていただきたい。
3 平等利用の確保やセンターの利用促進策等の向上に寄与できるICTの養成講習会の拡充を目指していただきたい。

7 最終評価

評価項目		評価	所見
成果指標の達成		B	コロナにより、予定した事業が出来なかったことなどにより市の目標を下回ったが、満足度は高い。昨年度も同様コロナ禍であったにも関わらず、9割を超える方が満足されており、地域に定着していることがわかる。
市費の縮減		B	感染症予防の点から事業を縮小したため、当初予算より残っている。
管理運営の履行状況		B	所管警察署によるサークル開催前の5分程度を利用した啓発研修や90分程度の講座の開催や和太鼓体験会など高齢者のニーズに応じたイベントを開催している。同じ建物にある障がい者作業所や保育所とも連携している。サークルが35ほどあるが、ルールを決めて自主運営を行えるよう援助しており、活発である。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上			
施設の管理運営			
事業計画の実施状況			
施設の有効利用			
社会的責任・市の施策との整合性			
総合評価		B	概ね、大阪市が期待する運営を行った。